



第45号
2016年10月28日



埼玉県合唱連盟
〒330-8557 さいたま市浦和区常盤4-12-13
(朝日新聞さいたま総局内)
TEL 048-824-8161
FAX 048-831-5310
<http://saicn.net/>

SAITAMAコーラスワークショップ2016

2016年6月11日(土) 於: さいたま市文化センター



「講座A」成果発表

6月11日(土)さいたま市文化センターにてSAITAMAコーラスワークショップ2016を実施しました。①粕谷宏美先生のご指導によるNHKコンクール中学校の部課題曲の講習(参加型)②仲光甫先生のご指導によるバーバーショップ講座(参加型)③モデル合唱団・川越牧声会の演奏を粕谷宏美先生にご指導いただく全日本合唱コンクール課題曲の講習(聴講型)④佐々木典子先生のご指導による女声特化发声講習(参加型)に加え、同会場に埼玉県合唱祭第3日目、楽譜やCDの出店ブースもあり、ご参集の皆様には、



「講座C」成果発表

まる一日楽しく合唱を「学んで」いただけたと思います。合唱祭のプログラム中にこれらの講座の成果発表も実施し、好評を博しました。

これらはどれも、普段の合唱団での練習に差し支えるものではありません。講師の先生方がそれぞれに、どんな合唱団の方でも適合できるよう工夫された内容です。本ワークショップは、合唱の好きな一個人が、まる一日合唱を楽しめるように考えました。講習を受けなかった皆様も、来年度は是非ワークショップを「体験」してみてください。

埼玉県は、全国の中でも大変所帯の大きい連盟ですので、男声・女声・混声・ジュニア・中高・一般・シニア向け等バランスを考慮し、講座の数もなるべく確保し、来年度以降に繋げていきたいと思います。

(常務理事 小松直詩)

Sound Celebration <響きの祭典>

講師 仲光甫

ワークショップの会場に足を踏み入れた瞬間、その熱気によても驚きました。「バーバーショップ・ハーモニー」は合唱を愛する皆さんにとっても、まだまだ認知度が低いスタイルなのではないかと思うのですが、わたしの予想を遥かに上回る148人の歌い手、38人の聴講の皆さんにお集まりいただき、気合いが高まりました。



「講座B」仲光先生

最初に曲を通したときにはそれが思い思いに書かれた音を歌っている、という感じだったのですが、ア・カペラのシンプルかつ美しいハーモニーを通して「生きたことば」を周りの仲間たちとコミュニケーションし合うことをテーマに進めてゆくなかで、初めて出会った人同士でも音楽としての一体感、うねりが生まれていくのを感じられてとても感動しました。成果発表までがあつという間で、曲のタイトル“Sound Celebration(響きの祭典)”とはまさに「音楽」なのだと実感できるひとときでした。

ご参加いただいた皆さん、慶應志木高校の吉川誠二先生をはじめお世話になった連盟の先生方、素敵な体験をさせていただきありがとうございました。

～参加された方の感想～

コーラル・ソシア 日下美代子

〔講座B聴講〕楽譜を一切見ず、一分一秒を惜しみ全パートの音を繰り出し続けた仲光甫先生の素晴らしい聴講中興奮を隠せなかった。講義にぐらいくつ受講諸氏のレベルも高く、今後の埼玉の男声合唱がどう変わるか楽しみです。

〔講座D受講〕佐々木典子先生の「どの年代の自分の声も好きになってください」の言葉が心に残っています。明日からの自分の歌に活かしたいです。ありがとうございました。



「講座D」佐々木先生

第 61 回

埼玉県合唱祭

2016年6月4日(土) ウエスタ川越・5日(日) 越谷サンシティ

11日(土)・12日(日) さいたま市文化センター

19日(日) 熊谷文化創造館

今年の合唱祭は6月4、5、11、12、19日の5日間、253団体、延べ6,260人の参加で行われました。今年度は埼玉会館改修工事のため、ウエスタ川越・越谷サンシティ・さいたま市文化センター・熊谷文化創造館の県内東西南北4会場での開催となりました。

例年と違う会場で行うことは、運営面においての苦労がありました。皆さんに気持ち良く演奏して頂くための会場設営やステージへの動線を計画するために会館と何度も打ち合わせを行いました。

しかし良いこともありました。普段は合唱祭を聴きに来たことのない方が「近くでやっているから」「子供や孫が歌うから」といって足を運んでくれた方々が例年より多かったように思います。それはプログラムの販売数が多かったことからも感じます。

ステージではどの日も素晴らしい演奏がくりひろげられました。合唱祭はそれぞれの団の個性や特色が演奏に表れます。ボップスあり、コンクール曲あり、団の特色にあった選曲で演奏しています。自分たちの個性を生かして、練習を重ねてきた演奏はステージで輝きを放ちます。演奏している方々も楽しそうです。そしてその演奏を聴くのもとても楽しいのです！ 3部制にも慣れてきて、1部が2時間ほどになりました。一日6時間ずっと合唱がつづくのですが、聴いていて楽しくてあっという間に時間がすぎていきます。もっともっとたくさんの方達とこの楽しい時間を共有していきたいものです。



全員合唱



合同合唱

ただ今年の合唱祭の課題は係員の事前の申し出が少なく、無理をいつて係をやって頂いた団もありました。今まで係をやったことのないという方々にもお手伝いして頂きましたが、「楽しかったです」というお声も頂きました。どうぞ来年の合唱祭は演奏者、聴衆の皆様、そしてたくさんの方に運営に関わって頂き、さらに盛り上げていきましょう！

(常務理事 ト部 一恵)

出演団体の声

アンケートに回答をいただきました

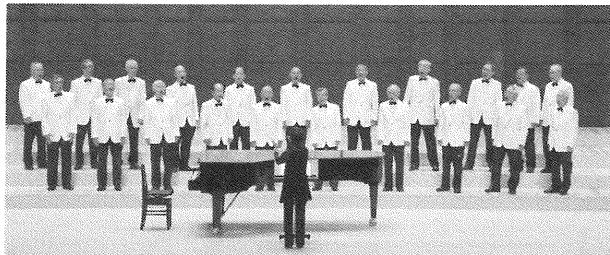
Q1 合唱祭に出演した感想

- 毎年合唱祭出演を目標に練習し、楽しみにしている。
- いろんな団体の演奏を楽しく聴いている。
- ポピュラーソングでは会場のお客さまと一緒に歌うことができた。



Q2 他の団の演奏を聴いて思ったこと、歌ってみたい曲名等は？

- 身振り手振りが入った合唱が楽しく印象に残った。
- 中・高生の発表がたくさんあり、すがすがしく純粋な歌声に心が洗われる。
- 一生懸命練習を積んで来られた様子が心を打つ。

**Q 3 合唱祭までに努力した内容は？**

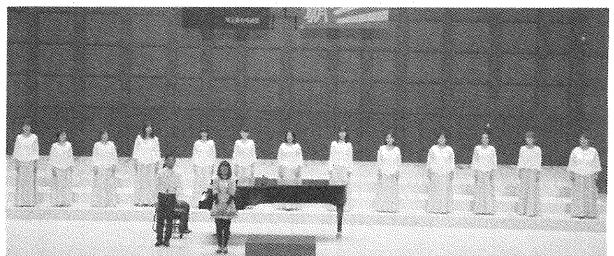
- ・合唱経験のない人が大多数。基本の発声に取り組み始めた。
- ・新入団員のレベルアップと同一調和を図ること。
- ・毎回の練習を大切にし、かつコーラス以外でも気持ちを一つに、と練習後のランチを楽しんだ。

**Q 4 練習時および合唱祭当日のハプニングや裏話**

- ・リハーサル後、トイレに行った人が会場で迷子、演奏開始直前に舞台袖にドタドタと上がってきた。
- ・衣装の写真を自分たちで撮るのを忘れ、残念。
- ・山台の数を確認不足で、フォーメーションが狂い大変戸惑った。

Q 5 先生のご指導で心に残っていること

- ・眉間に針を刺した感じで、一点をめがけて声を出すように。
- ・メロディラインの充実と低音の支えをしっかり。
- ・一人ひとりの復習が十分にされていないと、次のステップに進む事ができない。予習より復習が大切。
- ・合唱祭はお祭りなので、パフォーマンスをして自分たちもお客様にも楽しんでもらおうと取り組んだこと。

**Q 6 今年の合唱祭の反省および来年に向けての要望・提案**

- ・一般客の来場を多くして盛り上げたい。
- ・3部に分かれて、とても楽になった。
- ・ウェスタ川越がよかったですのでまた使って欲しい。
- ・前年度のコンクール歴を紹介されてはどうか。



♪アンケートにご協力いただきました団体の皆さまありがとうございました♪

撮影：スタッフ・テス株

第39回 全日本おかあさんコーラス関東支部大会

2016年7月2日(土)・3日(日) 於:山梨県／コラニー文化ホール(山梨県立県民文化ホール)

【選考結果】

第1日目

コーロ・フォンターナ	大会賞
プリムローズ	大会賞
Ciel Clair	優秀賞
Ladies Choir 潮の音	大会賞
コーラル・クローバー	優秀賞
コール・ドルチェ	大会賞
ヴォーチェ・ピアンカ	優良賞

第2日目

コール・マーガレット	大会賞
大宮コール・ヴァイオレット	大会賞
La Passione	大会賞
アンサンブル・ソアーヴェ	大会賞
Blanc Bouleau	優秀賞
mellow コール	優良賞

下線の団体は全国大会への代表



優秀賞・コーラル・クローバー



優秀賞・Blanc Bouleau

第39回

全日本おかあさんコーラス全国大会

2016年8月27日(土)・28日(日) 於:青森県／リンクステーションホール青森

Ciel Clair

代表 寺尾 妙子

第39回全日本おかあさんコーラス全国大会に出場して…

緊張感とワクワク感で全国大会会場の青森に到着。青森は連日澄みきった空! 正にCiel Clairの意味と同じ、一点の曇りのない真っ青でした。埼玉県を代表して初出場、日頃の成果を会場いっぱいに響かせ、心を込めて演奏しました。結果は、目標である、ひまわり賞を受賞する事が出来この上ない喜びでした。2012年おかあさんコーラス東京大会及び全国大会で満面の笑みを湛え、素晴らしい指揮をされた福嶋先生を初めて観て心を奪われました。2013年頃、その福嶋先生を奇跡的とも言えるご縁により、指揮者としてお迎えする事が叶いました。福嶋先生は毎回30分以上の発声と、美声で何回も歌ってみせて、丁寧に、ダイナミックな音楽を作る、それを見事なピアノ伴奏で支える高松和子先生のお陰と心から感謝致します。2日間各県を代表

する多彩で魅力的な演奏を聴く事が出来たのも至福の時でした。そして歌う事は何と素晴らしい事!! という出来事がありました。「水のいのち」の作曲者高田三郎先生ご夫人留奈子先生を関東大会甲府会場で、演奏中のステージの中に見つけ、もう驚嘆です!! 97歳で「夫の作品を歌う様になれたら、元気に若々しく、きれいになったでしょう!」とほほえむチャーミングなお姿に、私も是非あやかりたいと思いました。



ひまわり賞

撮影:スタッフ・テス株

彩の国男声コーラスフェスティバル2016

2016年10月8日(土) 於：秩父ミューズパーク

10月8日(土)秩父ミューズパークにて、関東各地より23団体の参加を頂き、盛大に開催致しました。この大会の目玉企画のひとつが1日だけの合唱団。講師には一昨年に引き続き、山脇卓也先生をお招きしました。

事前に申し込みを頂きましたメンバーにより、午前中から先生のレッスン、午後の演奏会にて発表。曲はここ秩父から生まれた名曲「旅立ちの日に」、埼玉県合唱連盟オリジナル男声アカペラアレンジバージョンで。また、上田真樹さんの「酒頌」、どちらも見事に仕上げていただきました。楽しく充実したレッスン。先生に感謝です。

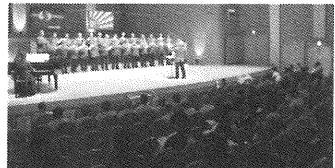
午後からは各団体の演奏。個性豊かで楽しい演奏が続きました。特に高校生の楽しい演出付きの演奏には会場も大いに盛り上がりました。

続いて場所を野外ステージに移し、懇親会。当日は雨の予報でしたが、秩父だけはなんと予報を覆し秋晴れ!爽やかな秩父の秋風の中、美味しい酒と、楽しい歌で、呑めや歌えや。これもまた大いに盛り上がりました。

中国の曹操の言葉に、「酒に向かいてまさに歌わん、人生幾ばくぞ」という言葉があります。まさにそれがここにありました。気の合う仲間と共に呑み歌う喜びは、生きている証であり、なものにも変えられないものです。皆様の笑顔と歌声には、時を忘れさせられました。参加者の皆様、ありがとうございました。

来年は11/4(土)川越を予定しております。ここにもまた、うまい酒があります。皆様方、次回もよろしく、お願いいたします。

(常務理事 蓮沼 喜文)



密着取材! ~今年も熱かった! 彩の国男フェス2016~



■7月16日練習会。曲は、近年、若い世代の男声合唱団に愛唱されている「酒頌」と秩父市発祥の曲で、小中学校の卒業式の定番曲として唄い継がれている「旅立ちの日に」。参加者は7名の少人数でしたが、皆さん、事前準備をしっかりとされて、随所に良い音を奏していました。

■10月8日、雨天が心配された当日、イベントの成功を予感させるような晴天の秋空の下、第1部は合同演奏の講習会。講師の山脇卓也先生から、ユニゾンの精度を高めるためパート毎に丸くなり、周囲の音を聴き合う事、歌詞の語頭を意識して助詞を抜く事、曲最大の聴かせ所の歌い方等、的確な指導を受けました。

第2部の演奏会では、23団体による真摯な演奏が繰り広げられ、続く合同演奏は総勢29名が参加、本番の集中力と山脇先生の熱い指揮により、力強くかつ繊細な和声が表現されました。

演奏会後は〈飲んで、歌って、食べて、喋って〉の懇親会!鏡開きした秩父錦の樽酒は、瞬く間に飲み干されたのです。《これぞこれ この世のまこと?》男フェスの醍醐味です。秩父に《かんぱーい!》、男フェスに《かんぱーい!》と、素直に思えた一日でした。 (理事 関根 盛純)

第5回全日本男声コーラスフェスティバルin高知

2016年7月9日(土)・10日(日) 於：高知県／高知市文化プラザかるぽーと

男声合唱団 ヴィヴ・ラ・コンパニー

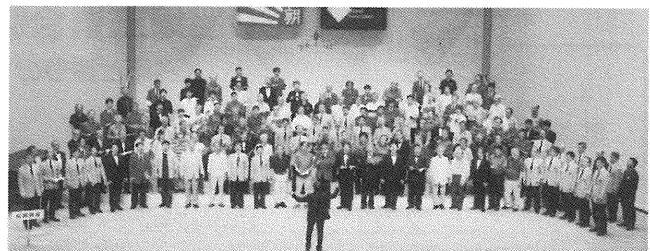
伊藤 博行

梅雨がまだ明けず蒸し暑さの残る高知市において同フェスティバルが開催され、関東支部から男声合唱団ヴィヴ・ラ・コンパニー(ヴィヴコン 指揮:南めぐみ理事)が、第3回(岡山)、第4回(京都)に続いて参加しました。ヴィヴコンは県内の男声5団体で結成するYARO会(約100名)の有志による催し毎に集まる合唱団で、今回は15名が参加しました。

今回も北海道から九州まで21団体、総勢約450名が参加し、初日は3講座に分かれての合同合唱の練習で、須賀敬一先生、山脇卓也先生、広瀬康夫先生による3時間に渡る熱い指導を受けました。各講座の聴き合わせでは、約150人ずつの大合唱の迫力を堪能しました。

更に市内ホテルの屋上ビアガーデンにて交流会が開かれ、本場の鰐のタタキと生ビールで全国からの合唱仲間と飲んで歌って親交を深めました。

翌日、各団体の多彩な演奏と各合同演奏が3ブロックに分かれて行われ、ヴィヴコンは、各ブロックで“最も印象に残った団体”に贈られるバック賞(缶ビールと地酒)を頂きました。ご当地土佐の方言や名物を織り込んだ替え歌がウケての受賞でした。真夏の男声合唱の楽しさを満喫した2日間でした。来年は7月に北海道の小樽で開催されます。



撮影：株大阪フォトサービス

第59回

埼玉県合唱コンクール

2016年8月27日(土) 高等学校部門

28日(日) 小学校部門・中学校部門(混声・同声)

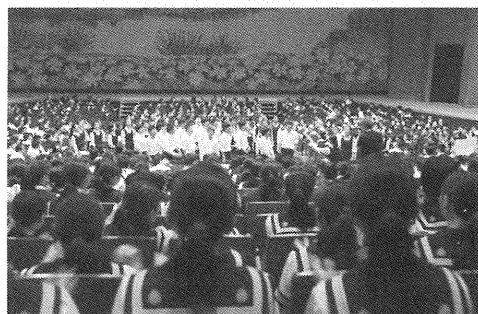
9月4日(日) 彩の国部門・大学職場一般部門(混声・室内・同声・大学ユース)

於:さいたま市文化センター

合唱コンクールを振り返って

第59回埼玉県合唱コンクールは8月27日(土)、28日(日)、9月4日(日)の3日間、さいたま市文化センターで開催されました。

この大会には、高等学校部門38団体、中学校部門(混声)18団体、(同声)27団体、小学校5団体、彩の国部門21団体、大学職場一般部門(混声)シード1団体を含む4団体、(室内)8団体、(同声)6団体、(ユース)10団体の合計137団体がエントリーしました。延べの出演者数は4,492人にも上ります。



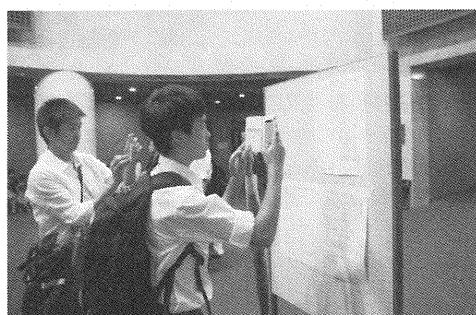
激戦の埼玉を制し関東に歩みを進めた団体の皆さん、おめでとうございます。さらなる練習で、関東を制し全国でのご活躍を期待いたします。その一方で涙をのんだ団体の皆さんには、来年を見据え新たなスタートを切られたことでしょう。ほんとうに「埼玉の熱い夏」にふさわしい大会となりました。

レベルの高い団体がひしめく埼玉大会ですが、その中に堂々初出場を果たした団体が数団体ありました。県合唱連盟としてはとてもうれしいニュースで心から歓迎いたします。初出場ながら予想以上に大きな成果を収めた団体もあれば、残念な結果に終わった団体もあると思います。でも、あきらめずに来年に向けて勇気ある2歩目を踏み出してください。



大会を振り返る中で忘れてはならないのが係員の存在です。今年も17の団体から延べ125人の皆さんのが受付、誘導、計時、会場その他の係で協力をしてくださいました。本当にありがとうございました。協力は高校生以上の団体となりますますが、これからも多くの団体の協力のもと、県全体として「おもてなし」の精神でこの大会を開催していきたいと考えています。関係各団体の皆様のご理解ご協力をよろしくお願ひいたします。

(常務理事 本田 尚子)



※審査結果はホームページに掲載しています。

告知

第60回埼玉県合唱コンクール 開催日程

〈例年と違うのでご注意ください!〉

平成29年8月19日(土) 高等学校部門

20日(日) 彩の国部門・大学職場一般部門(室内・同声・混声・大学ユース)

27日(日) 小学校部門・中学校部門(混声・同声)

第71回

関東合唱コンクール

2016年10月2日(日) 大学職場一般部門 (大学ユース・室内・同声・混声)
於：さいたま市文化センター

関東大会を終えて

去る10月2日(日)、さいたま市文化センターにて、関東合唱コンクール大学職場一般部門が開催され、関東9県より37団体の出場がありました。中・高の大会に比べ、一般部門ではお客様が少ないので例年の状況でした。今回は、折角の埼玉県での開催ですので、是非聴いていただこうと、県連加盟全団体に御案内を出したところ、チケットの申し込みを多数いただきました。どうもありがとうございました。中学校や高校の先生方を含め、例年より多くのお客様がいらして、演奏する団体も張り合이があつたようです。

出演団体数が多く、時間的な不安もありましたが、出演団体の速やかな入退場の御協力もあり、スムーズな運営で予定通りの時間で無事終了することができました。梅山関東支部長より、「昨年の全国大会の際もそうでしたが、埼玉県開催は安心して任せられます」とお褒めの言葉も頂戴しました。また、県内の催し物の際も多くの団体に御協力をいただいておりますが、今回も係員として、コーラル・ディジー、高校生では浦和、浦和第一女子、春日部女子、川越、不動岡の皆さんに、大会を支えて頂き感謝いたします。

県内からは、どの団体も県大会にもまして素晴らしい演奏をされました。全国大会に出場する8団体の中、Chor OBANDESとscatola di voceの2団体が選出されるという嬉しい結果になりました。全国大会でのご活躍をお祈りいたします。また、今後もより多くの皆さんに、各都道府県を代表する全国大会、という晴れの舞台で演奏出来る機会を持っていただけたらと願っております。 (副理事長 浅井一郎)



撮影：(株)フォトライフ

第71回関東合唱コンクール審査結果

2016年9月17日(土) 中学校部門 (同声・混声) 於：千葉県／千葉県文化会館

18日(日) 高等学校部門 (A・Bグループ) "

10月2日(日) 大学職場一般部門 於：さいたま市文化センター

中学校 同声 【金賞】ふじみ野市立大井中学校音楽部、蕨市立第一中学校音楽部、所沢市立狭山ヶ丘中学校合唱部、栄東中学校コーラス部

【銀賞】春日部市立春日部中学校合唱部、所沢市立向陽中学校コーラス部

中学校 混声 【銀賞】所沢市立南陵中学校合唱団、春日部市立武里中学校音楽部、春日部市立豊春中学校混声合唱団
【銅賞】所沢市立三ヶ島中学校合唱団

高等学校 A 【銀賞】県立伊奈学園総合高校音楽部

高等学校 B 【金賞】県立松山女子高校音楽部(支部長賞)、県立浦和第一女子高校音楽部、星野高校音楽部、県立大宮高校音楽部、県立松伏高校合唱部

【銀賞】県立浦和高校グリークラブ、叡明高校混声合唱団

【銅賞】県立大宮光陵高校合唱団

大職一般ユース 【金賞】Chor OBANDES

【銀賞】彩の国コンソーシアム合唱団KIRARA☆Mixed

【銅賞】西武学園文理高校合唱部・M.I混声合唱団

大職一般 室内 【銀賞】合唱団「あべ犬東」

大職一般 同声 【銀賞】La Mer

【銅賞】Il Campanile

大職一般 混声 【金賞】scatola di voce

【銀賞】浦和混声合唱団

下線の団体は、全国大会出場

小野瀬理事長 未来を語る

理事長 小野瀬 照夫

ヨコの委員会誕生～将来の展望～

いつも埼玉県合唱連盟に対しご理解とご協力を戴きましてありがとうございます。

さて、このコーナーでは当連盟の目指す方向の確認にプラスして、それに向け新たに組んだ組織体制やその取り組みをご報告いたします。全国的に大所帯で力のある埼玉県も、今日の状態を鑑みると、ここで一度全体を見直し、更なる活性化を図っていく必要を感じるからであります。

当連盟はここ数年で団体数が20ほど減少しております。原因や理由は高齢化や少子化による影響か、または他かも知れません。しかし、連盟としてはそれを見過ごさずに対策を立てていきたいと考え、本年初頭から動き始めました。連盟顧問の先生方からは、「シニアの方々にも喜ばれる事業の検討を」という助言も戴いておりました。

当連盟の理事は33名で、その年齢層や合唱のカテゴリー・東西南北の地区等がなるべく偏らないように構成されております。従来の組織・運営は、6つの事業…つまり①ワークショップ ②合唱祭 ③コンクール ④男声合唱フェスティバル ⑤アンサンブルコンテスト ⑥おかあさんコーラス大会…に振り分けられた小委員会によって企画検討されたものを理事全員で運営するという体制です。しかし、この体制だけでは現在の課題・問題点に対する対策を練るのに少し無理がある為、従来の体制に加え新たに構成しました。それを「ヨコの委員会」と呼んでおります。

従来の委員会をタテとし、ヨコの委員会は既存の広報に加え、○組織・財政 ○シニア ○事業検討（現在は主にジュニアについて検討中）○60周年となります。

基本的には私が理事長就任時に表明致しましたM・A・C…つまりM（モチベーション）のアップ・A（アカデミック）な内容・C（クリエイティブ）に事業を進めることは変わりませんが、この委員会を通じて長い展望のもと事業を具体的に見直し、改善を図りながら進めて参りたい所存です。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

新しい4つのヨコの委員会より報告およびPR

《事業検討委員会》

事業検討委員会としては、数ある事業の中で、先ずはジュニアが大切と考え、ジュニア団体の活性化について検討しています。

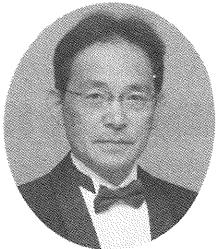
「県内で活動しているジュニア団体を活性化し、県連に加入してもらえる様にするには、どうすればいいか」をテーマとして検討を進めており、平成29年度のワークショップでジュニア講座を開催し、県内のジュニア団体の参加を促すことが提案されています。ディズニーソングの合唱曲に振り付けをして、その成果を合唱祭のステージで披露するといった内容が考えられています。演奏、パフォーマンスとも成功すれば、来年度の「60周年記念演奏会」への出演の可能性も出てくると思われますので、それを目標に県連加入のジュニア団体が中心となって参加して頂けるとうれしいです。

詳細が決まりしだい、お知らせしますのでよろしくお願ひいたします。

(理事 小林 とせ子)

《シニア委員会》

私たち合唱連盟は合唱を生涯学習だと思っております。シニアの方々にも幾つになっても歌い続けて欲しいのです。立つのが大変になったら座ればいいし、高い声が出にくければ選曲を工夫すればいい。それに豊

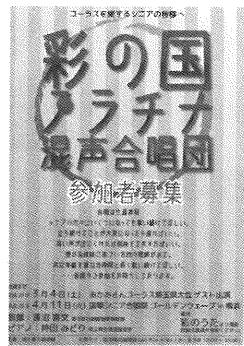


かな経験に基づいた詩の理解がある。ともに年齢を重ねた仲間と長く歌い続けて欲しい。

という事で「彩の国プラチナ混声合唱団」なるものを立ち上げます。3月の「おかあさんコーラス埼玉県大会」にゲスト出演。4月に「国際シニア合唱祭ゴールデンウェーブin横浜」に出演いたします。ゴールデンウェーブは横浜みなとみらいホールにて開催されます。指揮は常務理事の蓮沼喜文、ピアノは理事の持田みどり。彩のうたより、混声合唱曲を選曲する予定です。参加費は練習5回、本番の参加費も含めて6,000円程度です。参加申し込み等、詳しくは近々お知らせいたします。

50代以上の皆さん、楽しく練習して、みなとみらいホールで歌いませんか？

(理事 南めぐみ)



《組織・財政委員会》

組織・財政では、現在の運営を振り返って、財政面で無駄をなくして出来ることは何か、加盟合唱団を増やして連盟全体を盛り上げていくためにはどうしていくことが良いか等、対応出来ることや調査が必要なことを話し合っています。その中でも、まずは未加盟団体の把握・加盟のお誘いに向けて、各市町村ごとに事務局の有無や合唱団の団体数、合唱祭（音楽祭等）の運営の調査を行いました。未加盟団体の皆様へ、県連の様子を知りたい方のきっかけ作りとして、各市町村の事務局等へ、県連事業のお知らせや招待状の送付をしました。コンクールではご来場いただいている。加盟団体の皆様の中でも、お知り合いの合唱団がありましたら、ぜひ加盟のお誘いをお願いいたします。また、各市町村でも合唱祭などの行事が行われていますので、加盟のお誘いのみにならず、各市町村の代表（事務局）の皆様とも繋がりを持っていけるよう、工夫していきたいと思います。

加盟団体の皆様に向けた内容も今後検討してまいります。現在、合唱連盟オリジナルグッズの販売を検討中です。通年行事・ヨコの委員会と連携しながら、より良い事業運営を目指します。（理事 須藤るり香）

《60周年委員会》

埼玉県合唱連盟は来年度に創立60周年を迎えます。記念すべき周年事業をどのような形で行うか！「60周年委員会」所属の理事が定期的に会合を持ち討議を重ねています。

大きな柱としましては、記念式典・演奏会の開催、祝賀会の開催、60年史記録の編纂を掲げ準備を進めています。記念式典・演奏会は平成30年3月21日（水・祝）14:00開演、ソニックシティ大ホールで行うことが決まっており、それに引き続き同市民ホールで祝賀会を開催します。60年史記録は50周年時に発行した記録の後の10年を加え作成する予定です。この10年間に行われた連盟行事の詳細な記録をまとめた永久保存版を目指しています。

今回の記念演奏会のコンセプトは連盟にかかる全ての人が参加し、オーケストラと共に会場全体で歌うクリエイティブなプログラムをつくる、というものです。音楽に、合唱に、合唱連盟に対する皆様の熱い想いを会場に届けて頂きたいと思っています。（理事 浅子元）

新理事紹介

理事 鈴木 弘美

大阪出身の指揮者兼ピアノ教師です。指揮を始めて25年目。『合唱の醍醐味は、和音を美しく響かせること！』をモットーに、日々多様な声質と格闘しています。理事一年生、皆様どうぞよろしくお願ひいたします。



埼玉県合唱連盟 ～今昔物語～ 合唱祭



埼玉県合唱連盟はもうすぐ60周年です。

合唱祭も今年は第61回を迎え、全5日、延べ6,000人を超える参加者を擁する大規模な大会となりました。どのように合唱祭が発展して來たのでしょうか?

第1回の合唱祭のプログラムは(なんと埼玉県合唱連盟は過去全てのプログラムを保管!)昭和31(1956)年11月25日、24団体参加でした。この大会発足までのご苦労が記されていました。

昭和31年5月、埼玉大学合唱団の定期総会で「全県的規模の合唱祭を実施し、そこから全県下統一的連絡機関の結成を図ることを意図した行事を挙行するべき提案が決議されたそうです。白紙状態からこのスローガンを掲げて動き出すのは至難の業ですが、大学生の若さとエネルギーでともかくも合唱祭に向けて動き出しました。準備委員会が結成されると、凄まじい勢いで朝日新聞社浦和支局を始めとする各機関に後援の依頼に走り、県下各合唱団に合唱祭の趣意書を送り、会場の埼玉会館を予約し、半年後の11月にとうとう実施となりました。大成功を収めた;第1回のプログラムには目的や意義が記されています。「この合唱祭を契機として、今後、県下の合唱団を育成し、県の年中行事として継続的に合唱祭が開催できるような連絡機関の結成も企画されている。」

いよいよ合唱連盟の誕生です!

第2回の開催は、出来立ての合唱連盟主催でした。これまた大変なご苦労があったようです。出演する合唱団が係員を担当するはずだったのですが、集合時間になどもどなたも集まらなかったそうです。これを機に「合唱祭実施に関する注意事項」(以下参照)という手書き、ガリ版刷りの書面が作成されました。

今なお継続されている、注意事項のルーツですね。

今私たちは未来へと目を向け、先人たちのご苦労の上に綿々と続いている60年の歴史を、合唱祭で声高らかに歌い繋いでいきたいものです。

(副理事長 小島 嘉子)



合唱団訪問記 [Cache-Cache]

～練習風景を密着取材～ 訪問日時 2016/8/23 13:00～15:30

女声合唱団Cache-Cache(カシュカシュ)さんの練習を取りました。Cache-Cacheさんは団員14人、練習は月に3回(うち1回はヴォイストレーニング)。今回は団員のみでの練習でしたが、驚くことが一杯でした!

「7つの『びっくり』ポイント」

- その1 指揮者不在でも団員のみで音取りをしながら何曲も仕上げていける! (マイ ミニキーボードを各自が持参)
 - その2 練習密度が濃い! 歌っている時間が長いのに、集中。2時間半で、前半3曲(うち1曲は2回)、後半4曲×2回。
 - その3 声が美しい! 1つの輪になってお互いによく聴き合ってハーモニー作り。(写真のようにみんなで輪になって)
 - その4 自主性が高い! 発音や気づきをみんなでどんどん言い合い練習を重ねる。
 - その5 楽しそうな笑顔! 端から見えていて羨ましいほど。新メンバーも和む明るい雰囲気。
 - その6 指揮者の指導を受ける前の自主練習レベルの高さ! 高い向上心に脱帽です。
 - その7 休憩時に出されるお菓子の山! 代表の松本さんによれば「ヤル気の秘訣はお菓子」
- ・来年は、結成10年目で5月20日に第4回演奏会を川口リリア音楽ホールで開催すること。練習の最後には一緒に「花」を歌って取材した私達もコーラスを満喫させて頂きました。

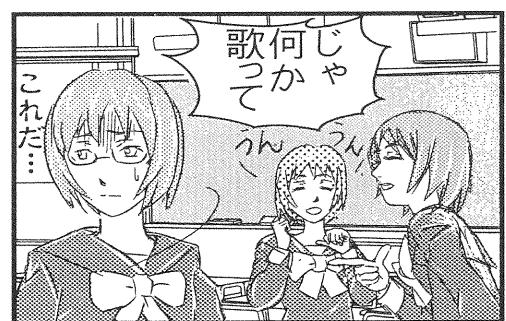
個性豊かな合唱団の取材、次回もどうぞお楽しみに♪

(理事 持田みどり・理事 皆川 裕紀)

印東公民先生の四コマ漫画コーナー

合唱あるある

◆合唱やっててやだなあと思う事◆



Tact vol.22



指揮者 吉田 寛

私は、昨年の3月に36年間の高校の音楽教師の職を終えました。36年間のうち、合唱に関わったのは、川越高校に赴任した最後の10年間（50歳～）のみでしたが、その10年間は私にとってかけがえのない時間となりました。

初任の時から吹奏楽を19年間、管弦楽を7年間指導し、合唱とは無縁の生活をずっと続けてきました。そんな私が突然、伝統と実績のある川越高校の音楽部の指導をすることに・・・。重圧に負け、教師を辞めようと本気で思ったところからのスタートでした。生徒の言葉に助けられ、何とか辞めずに合唱の世界に足

を踏み入れることが出来たのです。ラテン語さえも知らず、発声の指導もできず、器楽と違い、なぜかテンポを勝手に揺らしたり、音を伸ばしたりと合唱の表現に戸惑うばかりでした。悪いピッチの指摘、表現の指示は出来ても、それを改善するための方法がわからず直せなかったのです。

★ 呼吸や発声、イメージの持たせ方、子音や母音の扱い、合唱独特のテクニックなど少しづつ勉強したり、工夫したりしながら身につけ、何とか10年間続けられました。一番大切なことは声作り。発声練習を単なる声出しではなく、音程が正しく取れ、表現の幅を広げられる内容にすることでした。

良き生徒に恵まれたおかげで、全国出場は1度きりでしたが、関東大会に7度（インフルエンザ蔓延で辞退も1度ありましたが）進むことが出来ました。退職する年の定期演奏会にはたくさんのOBが駆けつけてくれ、130人近くの大合唱団で演奏ができ、幸せな時間を過ごすことができました。昨年からは、小さなOB合唱団の指導と、大人数の女子高の合唱指導のお手伝いをしています。男声と女声の違いも少しづつですが理解出来てきました。合唱を始めて12年目、まだまだ勉強ですね。

※※※※ それぞれの周年記念 ※※※※

40周年

40周年記念コンサートを終えて

去る5月28日所沢市民文化センター ミューズのマーキーホールでコンサートを開催しました。

金子みすゞ詩による童謡歌曲集、なかにしあかね作品、そして指導者が共通の川越女声合唱団のコール萌さんと日本の歌を合同演奏しました。

のんびりと歌っていた所沢小学校PTAコーラスを離れて、指導者を探すという試練の時期が暫く続き、仲間も減り、何度も辞めたいと思いました。その様な時、埼玉県合唱連盟の理事をさせて頂き、当時理事長だった小高先生に奥村先生を紹介頂き、今年で丁度20年になります。楽しく歌うというレベルから、先生は常に高峰を目指されて「出来ますよ」と励まして頂いて、丁寧にご指導下さり、私達も一生懸命ついて行きました。

つらい時に辞めずに励ましてくれた仲間達、そして大勢の方に支えて頂いて今まで続けてこられました事に、心より感謝しております。

出会い、そして仲間との協調、色々な事を経験させて頂いた40年間です。幸せなことに私の様な高齢者にも「健康のために歌い続けて下さい」と指導者から励まして頂いて、今日も素敵な仲間と共に歌わせて頂いております。

所沢「ねむの会」

団長 山田 直子



♪私たちの場所

Stage

獨協大学混声合唱部

部長 小原 恵

こんにちは！獨協大学混声合唱部、通称「どっこん」です！私たちは獨協大学で活動している合唱団です。経験者から初心者まで、様々な部員で構成されています。歌のジャンルはポップスから本格合唱曲まで様々です。約10名という少人数ですが、一人一人の響きを活かした合唱を目指して日々活動しています。今年は学内の行事だけでなく、埼玉県合唱祭や軽井沢国際合唱フェスティバルなど、外部のイベントにも積極的に参加してきました。現在は学内コンサートの練習に励みつつ、定期演奏会の復活や、コンクールへの参加を目指しています。さあそこのアナタ！ぜひ獨協に来て私たちと一緒に合唱を作り上げましょう！！

Twitter : @dokkyo_chorus

楡の会

代表 木暮 美重子

1976年、合唱を愛する仲間で産声を上げ40年、地道に歩んでまいりました。翌々年から「埼玉県合唱祭」「おかあさんコーラス大会」に参加し、多くを学ばせていただき感謝しております。(残念ながら「おかあさん大会」は3年前より欠場中です。)

指導者のご不幸で、悲しい経験もしましたが、現在は、明るくパワフルな小栗先生との出会いから24年、華麗な田口先生のピアノ伴奏と共に支えられ、楽しく練習に勤しんでおります。過去に50余名の団員も、老齢化と諸事情で15名に減少し淋しくなりましたが、両先生にご苦労をかけながら、お互いを労り合い、頑張って進んで行きます。

どうぞ宜しくお願ひいたします。

ツイッター始めました。
@scl_from1957
フォローお願いします♪

編集
後記

Pause第45号をお届け致します。活発な合唱活動の報告と、今回は合唱連盟の未来への展望を小野瀬理事長に語ってもらうという内容でしたが、お楽しみ頂けたでしょうか。今後も皆様の豊かな合唱ライフのお手伝いが出来れば光栄です。

(理事 浅子 元)

埼玉県立入間わかくさ高等特別支援学校音楽部

顧問 後呂 洋

埼玉県立入間わかくさ高等特別支援学校は、平成28年4月に開校したばかりの新しい学校です。埼玉県では初となる、普通科と職業学科を併置する高等部単独校です。音楽部は職業学科の1年生9人で活動しています。先輩がいない中、全員で切磋琢磨して頑張っています。夏休みもほぼ毎日練習し、その中では狭山経済高校合唱部、芸術総合高校合唱部と合同練習なども行い、たくさんの刺激を受けました。今後は、他の特別支援学校の文化祭に出向いて演奏を行うなどの予定があります。創部してまだ日が浅い音楽部ですが、温かく見守っていただければと思います。

コーロ・フェリーチェ

会長 真鍋 洋子

私たちコーロ・フェリーチェは、今年結成20周年を迎えます。指導はアルト歌手の小川明子先生に、伴奏は先生と親交の深い香取あさ先生にお願いしています。団員は、現在30名で、中には上尾、本庄等遠方から通う団員もいます。発表の場としては、県合唱祭、市民音楽祭、ミュージック・フェスティバル、トリコロール、おかあさんコーラス大会、公民館祭りがあります。この2年間は、『今日もひとつ』『月の角笛』や『Messiah』を練習してきました。ハーモニーの美しさはもちろん、歌詞に込められた思いを表現して歌っていきたいと思います。(毎週月曜10:00~12:00・熊谷市立桜木公民館で練習しています。)

ポラスが育てた大工が、
ポラスの家を強くする。

住まい価値創造企業
POLUS
ポラスグループ

ポラス株式会社(建設業 国土交通大臣許可(特-26) 第14631号 ポラテック(株))